

クロイセオバクテリウム・メニンゴセプティクム由来の**α-N-**アセチルガラクトサミニダーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1259

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 α-N-アセチルガラクトサミニダーゼ (EC 3.2.1.49) は、細菌および動物由来のグリコシド加

水分解酵素で、ナガラーゼとも呼ばれています。この酵素をコードするヒト遺伝子は NAGA です。この遺伝子の[異と α -N-アセチルガラクトサミニダーゼ活性の欠乏が、シンドラー病の

原因として特定されています。

別名 EC 3.2.1.49; α-N-アセチルガラクトサミニダーゼ; アルファ-N-アセチルガラクトサミニダー

ガラクトサミニダーゼ; α-NAGA; α-NAGA; α-GalNAcase

製品情報

種 クロイセオバクテリウム・メニンゴセプティクム

由来 E. coli

分子量 47 kDa

濃度 20,000 ユニット/ml

単位定義 1ユニットは、1 nmolの(GalNAc α 1-3)(Fuc α 1-2)Gal β 1-4Glc-7-amino-4-methyl-

coumarin (AMC)から、37°Cで1時間に>95%の末端 α -D-N-アセチルガラクトサミンを切断

するのに必要な酵素の量として定義され、総反□体積は10 μlです。

保管・発送情報

保存方法 -20°Cで